

『漢字の書』 第三回課題 (五月十一日、十二日)

前回までの課題で、篆書体を知ってもらえたと思います。別添えの資料を参考にしてください。みんなが「ほんこ」という呼び方をする印が今回の課題です。

印を彫ることを篆刻といいます。**姓名印のデザイン**を考えていきましょう。もともと印には篆書体が使われていました。おうちの実印は今も篆書体のもので使っていることが多いと思います。この篆書体は、紙幣やパスポートなど大切なものに現在も使われています。

学習手順

①本当は、五体字類という辞書で調べるのですが、今回は、インターネットで自分の名前の漢字と「篆書体」と入力して検索してみてください。平仮名の名前の人は、一回目の課題と一緒に、同じ音の漢字に直してください。

②別添え資料を見てください。篆書体の特徴が書いてあります。線の太さが一定で、はらいやはねがありません。また、左右相称の字形が特徴です。横画は水平、縦画は垂直。線と線の間隔は均等です。この特徴に注意して篆書体で名前を書きましょう。

*二枚目が提出用紙です。同じ形式であればどんな紙でも可。

次回の課題で、印のデザインを考えてもらいます。誤字がないかチェックしますので早めに課題提出してくださいね。一回目から今回分まで、学年からの指示通りにメールに添付して課題提出をしてください。現物は登校後の授業で提出してください。

漢字の書』課題②篆書体

年組番

()

					名前
					調べた篆書